



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	＜利尻ナイト＞カリスマ・ネイチャーガイドと考える：通年型北海道観光の可能性（講演者 村上浩之・渡辺敏哉・佐々木大輔 司会・進行 かとうけいこ）
Author(s)	平本, 健太
Citation	地域経済経営ネットワーク研究センター年報, 9, 37-37
Issue Date	2020-03-30
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/78540
Type	departmental bulletin paper
File Information	070_REBN_09_037.pdf



<セミナー>

<利尻ナイト>カリスマ・ネイチャーガイドと考える 通年型北海道観光の可能性

講演者 村上 浩之*・渡辺 敏哉**・佐々木 大輔***
司会・進行 かとう けいこ****

解説 平本 健太

去る9月27日（金）に、<利尻ナイト>「カリスマ・ネイチャーガイドと考える通年型北海道観光の可能性」と題して、セミナーを開催しました。今回は一般市民の皆さまのご参加も促すべく、初めての試みとして金曜日の19時から21時という時間帯にセミナーを設定いたしました。この結果、利尻、稚内、滝上、倶知安、旭川、釧路などの道内各地はもとより、東京や神戸など道外からも多くのオーディエンスにお集まりいただき盛会となりました。

講演者として、国土交通省北海道運輸局観光部国際観光課長の村上浩之氏、まるぜん観光（株）代表取締役でネイチャーガイドの渡辺敏哉氏、国際山岳ガイドでプロスキーヤーの佐々木大輔氏の3名をお招きし、（株）まちづくり観光デザインセンターCEOで地域プロデューサーであるかとうけいこ氏の司会でセミナーが行われました。

まず村上氏より、北海道におけるインバウンド環境の現状と課題について、詳細なデータにもとづいてお話しいただきました。次に渡辺氏より、利尻島および宗谷地方におけるとりわけ冬期の観光客誘致の取り組みや冬の利尻島の観光資源の優位性について、美しい写真や動画をまじえてお話しいただきました。佐々木氏からは、利尻大滑降やデナリ大滑降など過去の冒険スキーについてのご経験をご紹介いただいた後、北海道の雪が観光資源としていかに優れているか、また北海道の冬に観光客を誘致するための課題は何かについてお話しいただきまし

た。これらを受け、また会場からの質問を踏まえて、司会のかとう氏のファシリテーションによって、3名の講演者の間で通年型北海道観光の可能性に関するディスカッションが行われました。

北海道におけるインバウンド観光客の誘致政策を実践されている村上氏、冬山ガイド・スキーガイドとして、日々ゲストを案内している渡辺氏と佐々木氏、そして地域のプロデュースを専門とするかとう氏と、それぞれのお立場からの示唆に富む数々のご発言は、北海道における通年型観光の可能性を考えるための確固たる手掛かりになったと考えます。

カリスマ山岳ガイドである渡辺氏と、世界的に著名な山岳スキーヤーである佐々木氏というビッグネームのお二人にご登壇いただいたおかげで、いつものREBNセミナーとはかなり異なるオーディエンス層にもお集まり頂き、2時間にわたり熱のこもった雰囲気でのセミナーとなりました。

なお、今回のセミナー開催に際しては、稚内しんきん（稚内信用金庫）よりご後援をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

* 国土交通省 北海道運輸局 観光部 国際観光課長

** まるぜん観光（株）代表取締役、ネイチャーガイド

*** 山岳ガイド、プロスキーヤー

**** （株）まちづくり観光デザインセンターCEO、地域プロデューサー